



G-ACTION 2030



2026年

前期トレセンスタッフ研修会 兼 B/C級リフレッシュ研修会
報告書

日 程：2026年2月22日(日)

場 所：講義会場・長良川スポーツプラザ大会議室 実技会場・メモリアルセンター補助競技場

参 加 者：地区ダイレクター・県/地区トレセンチーフコーチ・県/地区トレセン GK コーチ その他

講 師：松永 英機 氏 (技術委員長 兼 FA コーチ)

【内容】

講義

- ・ G-ACTION 2030 の振り返り
- ・ 東海マッチ/東海対抗戦から見た岐阜県の成果と課題
- ・ FA コーチより

実技

- ・ 東海マッチ/東海対抗戦の試合分析から課題を抽出し、トレーニングを作成
- ・ 指導実践：「アグレッシブにボールを奪う/GK (GP) を含めたビルドアップ」をテーマに作成したトレーニングを実践

【参加者の感想】

- ・ G-ACTION について、改めてしっかり把握して子どもたちやチーム指導者たちにも発信しなければならぬと思いました。子どもたちやチーム指導者たちにも情報を共有するためにも、まずは自分がしっかりと把握して、情報を発信するスキルもつけていきたいと思います。
- ・ 全カテゴリの試合分析結果がとても興味深かった。ただ課題は共通なことも理解できた。講義の時間を長くしてディスカッションなどもっとじっくりやりたい気持ちもあった。
- ・ 今回の実技を通して、指導者の皆さんの高い向上心と真摯に取り組まれる姿勢を強く感じました。終始、互いの話に耳を傾けながら学ぼうとする雰囲気があり、非常に学びの多い時間だったと思います。また、前回と比べて指導内容やプレーへの提示がより具体的になっており、研修を重ねる中で指導の質が着実に高まっていることを感じました。私自身も多くの気づきを得ることができ、今後の指導に活かしていきたいと感じています。

【講義・実技の様子】



報告日：2026年2月27日 作成者：杉山 貴昭

【担当者より】

今回のトレセンスタッフ研修会では、「G-ACTION 2030」を共通言語として、岐阜県全体の育成の一貫性と実践力の向上を図ることを目的に開催しました。理念の再確認にとどまらず、「現場でどう実行するか」に焦点を当てた実践的な研修となりました。

FA コーチからは、全国的な育成動向を踏まえた提言をいただき、岐阜県として目指すべき方向性と現在地を客観的に整理する機会となりました。G-ACTION 2030 が示す価値を、日常のトレーニングへどう落とし込むかについて、具体的な視点を共有することができました。

また、4種東海マッチおよび3種東海対抗戦の振り返りでは、県トレセン監督より成果と課題の報告があり、映像分析を通じてプレーの質や判断基準について多角的に検証しました。特に「アグレッシブにボールを奪う守備」と「GK (GP) を含めたビルドアップ」の2点は、岐阜県として継続して強化していく重要テーマであることを再確認しました。

実技では、試合分析から抽出した課題をもとに各地区スタッフがトレーニングを設計し、実際に指導実践を行いました。U11～U16の一貫した視点を意識しながら、「分析→計画→実践→振り返り」のサイクルを体現する内容となりました。

本研修を通じて、G-ACTION 2030 を“理念”から“行動”へと移す段階に入っていることを強く実感しました。今後は、各地区での実践共有や情報循環をさらに活性化させ、県全体で育成の質を底上げしていきます。

「指導者が変われば、選手は変わる。」

この信念のもと、岐阜県が一体となり、ベクトルを揃えた育成を推進してまいります。